

# 新人職員へインタビュー



清正辰剛さん 23歳

## 同期の二人



前田龍之介さん 21歳

①出身校：奄美看護福祉専門学校（こども介護学科17期生）

②入職年月：2018年4月

③所属：2階渚ユニット

④介護職員になった理由（この仕事を選んだ理由）

家族に障がい者がいて自分にも何か出来る事は無いか？と介護職員の道にすすみました。

⑤1年後の目標

全ての業務が1人で出来るようになりたいです。

⑥プライベート（趣味やチャレンジしたい事）

チャレンジしたい事は、ジャマイカへ行き本場のレゲエミュージックにふれる事！中学生の時にレゲエという音楽を知りすぐに夢中になり、イベントなどへ通ううちにステージ上で歌うアーティストが恰好良く、自分もステージに上がりレゲエやDJで奄美を盛り上げたいと思うようになりました。高校を卒業してからは、友人達と不定期ですがイベントを開催しており、次回は来年頃を予定しています！

⑦新人職員からのメッセージ

まだまだ分からない事だらけですが、元気をだして一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

⑧先輩職員からひと言

ご利用者への声掛けも優しく人気者です。渚ユニットのムードメーカーとして頑張ってください！！

①出身校：奄美看護福祉専門学校（こども介護学科17期生）

②入職年月：2018年4月

③所属：従来型入居課 4F

④介護職員になった理由（この仕事を選んだ理由）

専門学校に入学して、初めて介護に携わり興味を持ち、もっと知識を深めていきたいと思い今の職を選びました。

⑤1年後の目標

今、自分が出来る事に全力で挑戦し、多くを学び、知識・技術の向上を図っていきたい。

⑥プライベート（趣味やチャレンジしたい事）

チャレンジしたい事は、趣味がゲーム等、インドア派なので休日に外での運動（活動）する趣味を作って体を動かして行きたい。

⑦新人職員からのメッセージ

介護福祉士となって経験が浅く、知識や技術もまだまだ未熟なので失敗もしてしまっていますが、この一年間で色々な事に挑戦していき成長して行けるように頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

⑧先輩職員からひと言

一職員として成長していくのを楽しみにしています。失敗しても優しい先輩方がフォローします！



# かなんえんだより

発行 千894-0014  
鹿児島県奄美市名瀬平田町7-15  
社会福祉法人聖隷福祉事業団  
特別養護老人ホーム奄美佳南園

発行責任者  
施設長 村田勇

# 夏祭り

7月28日（土）奄美佳南園の夏祭りを開催しました。午前中は曇り空でしたが、午後からは晴天、祭り日和となり、ご利用者のみなさん、ご家族のみなさんに多く参加していただき、会場は大盛況でした。

司会進行の中田さん、千田さんの掛け声で子供達とご利用者によるスイカ割り始まり、ご利用者も浴衣姿にメイクを施し祭りを盛り上げます。余興では、春日保育園の園児達がカワイイダンスを披露！スタッフのみなさんのダンスもウケはバッチリ。（笑）ご利用者のみなさんは、スイカやかき氷を食べながらカワイイダンスとウケウケダンスを鑑賞されてました。なかには、キンキンに冷えた生ビールと焼き鳥を食べてハイテンションなご利用者も（笑）、八月踊りの太鼓が聞こえると普段はあまり手が上がらないご利用者も思いっきり手を上げ踊られる様子が見られました。

最後は、ご利用者と子供達が一緒に手持ち花火で暑い夏をみんなで更に熱く盛り上がりました。





# 祝 100歳

川畑辰美様100歳のお祝い会を地域の方、ご家族とお祝いしました。2018年4月6日に100歳を迎えた川畑さんは一人暮らしで、在宅介護サービスをご利用し、地域の方のご理解やご協力を賜りながら元気に過ごされています。

奥様を4年ほど前に亡くされて、寂しさ等で一人暮らしの継続等が困難に思われた時もありましたが、『100歳まで、元気に頑張らば』とご自分で合言葉にされて、お祝いの日を迎えることが出来ました。

翌4月7日には、孫娘夫婦や奄美市役所、近隣住民、医療関係者、介護サービス事業所等の参加者30名程の方々でお祝いをしていただきました。

今後は『120歳まで、元気に頑張る』と参加された皆様に話されていました。

ますますお元気に過ごせるように、聖隷ケアセンター奄美職員一同、笑顔の見える支援をしていきたいと思っております。

## 新川子どもまつり 多くの地域住民で盛り上がる



2018年5月5日土曜日、旧燃糸工場跡地にて『新川子どもまつり』が開催され、聖隷ケアセンター奄美も企画・運営へ参加、協力しました。『子供が安心して暮らせる町は高齢者、障がい者にとっても安心できる町』を目指して多年齢の交流を実施しながら2回目のお祭りになりました。今年の見玉は、おやじの会が企画実行したスライダー。多くの子供たちが体験しました。お祭りでは、昔遊び、四半的弓、無料カレーライス提供、舞台発表、駅伝、リサイクル販売、各自治会より焼き鳥や、焼きそば、農作物等の販売があり、多くの方が来場されました。

\*聖隷ケアセンター奄美は、65歳以上の方の相談対応と、奄美地区支え合い事業の事務局として、子ども～高齢者、障がい者の方が、安心して地域で生活が出来るように支援しています。(2019年1月には燃糸工場跡地に「地と知の交流館」(仮称)が完成します。)

**☆ ホームページをリニューアルしました ☆**

事業所紹介やサービス利用に関する情報、職員募集などタイムリーな情報やお知らせなど掲載しています。

<http://www.seirei.or.jp/elderlyhome/amami/> 検索は⇒

【お知らせ】  
紙面に掲載している写真・氏名等は、予めご本人の承諾を得たものです。  
記事に関するお問い合わせ、住所移転、郵送不可等、お手数ですが、ご連絡下さいませ。  
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 奄美佳南園 広報委員会

〒894-0014 鹿児島県奄美市名瀬平田町7-15  
TEL 0997 - 52 - 8688  
FAX 0997- 52 - 8695  
<http://www.seirei.jp/elderlyhome/amami/>

《施設理念》  
夕暮れになっても光がある

【苦情解決公表】平成29年9月～平成30年3月  
公表に至る苦情はありませんでした。  
苦情解決委員会

【編集後記】  
台風7号をきっかけに西日本を襲った記録的豪雨は甚大な被害をもたらすこととなりましたが、気象庁は早い時点で「記録的な大雨が降る見込みであり土砂災害や低い土地での氾濫について厳重な警戒が必要」と異例の事前警戒の呼びかけを行いました。気象庁では6月から従来の10倍の計算能力をもつコンピューターの運用を開始しており数値予測モデルの改良も絶え間なく行っているそうです。天気予報は当たらないと思わず警報が出たときは迅速な対策をとるように多くの方が意識を変えるべきなのかもしれません。西日本災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々に心よりのお見舞い申し上げます。  
広報委員 川原